

第8回酒田市史跡山居倉庫整備基本計画策定委員会 議事概要

開催日時：令和8年2月18日（水）9：30～11：30

開催場所：酒田市総合文化センター 4階412号室

1 開会

事務局	開会あいさつ。
-----	---------

2 市長あいさつ

市長	市長より開会のあいさつ。 令和5年度から7年度までの間、保存活用計画と整合性を図りながら整備計画の策定を進めてきた。1月にパブリックコメントを実施し、市民の皆様への関心が高いことが伺えた。3年間にわたり進めてきた整備基本計画を指針とし、今後、山居倉庫がさらに愛される史跡として残っていくことを願う。これまでのお力添えに感謝し、これからもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
----	--

3 出席者紹介

事務局	Web参加委員の報告（3名）
-----	----------------

4 報告事項

事務局	座長を委員長に移す。
-----	------------

（報告事項1）パブリックコメントの結果について

事務局	パブリックコメントの結果について説明。
委員長	15番について、推奨動線のことが書かれている。エントランスは2ヶ所に設定されているが、山居橋側というは蔵側のエントランスにどのような違いがあるのか明記されていない。推奨動線として山居橋から入ってくる以外に、いろは蔵から橋を渡ったところにも考慮があってもよいのではというニュアンスが含まれているように思う。P95に書かれている内容について市の内情も含めてもう少し詳しく書いた方がよい。
委員	25番について、市民に対して的確な説明が必要。将来にわたり史跡を保持するために子供たちの意見が重要。学校教育で山居倉庫の意味、意義を伝えるべき。長岡では花火の意味を学校で丁寧に指導し、来訪者に子供たちが「慰霊」のためと説明できるようになっている。子供たちが山居倉庫を地域の宝と考え、来訪者にお話できるようになることが必要。
事務局	教育委員会と連携して、山居倉庫を学校教育で取り上げていただき、伝えられるよう教育に取り入れていく。
委員	内容がかなり専門的だが、語句の説明がない。ルビや注釈などをつけた

	方がよい。市民の方に広く知ってもらうために概要版を作成する必要がある。
事務局	概要版を作成して市民向けに紹介する。
委員	年間 13~14 校をまわり、酒田のお米の歴史や北前船も含め説明している。その中で市と協力して山居倉庫についての案内を行えるとよい。
委員	子供たちに伝える際はどのような媒体を使っているか。
委員	写真を使って説明をしているが子供たちには分かりにくい部分もある。一緒に踊るなどして、飽きない工夫をして伝えている。媒体は舞娘さん。
委員	山居倉庫には案内の紙もない状態。最低限の内容は紙にまとめる必要がある。映像などを視野に入れてもよい。子供たちの教育に使える媒体があるとよい。
委員長	電子情報も含め、SNS を活用して行政と進めていけるとよい。
市長	パブコメの回答はわかりやすく修正して公開する。概要版も作成する。PR の仕方について検討する。動画で PR もしてきたい。子供たちに伝えられるように進めていく。

5 協議事項

(1) 第5章整備基本計画について

事務局	第5章について修正箇所を説明。加えて、今後の整備を進めるための課題について説明。
委員	P146 管理運営に関する計画について、人材育成の視点が欠落している。ボランティアを育成するとしても、施設の意義、管理運営の視点、様々な知識などノウハウを持った核となる人材が必要。それについての体制はどうなっているか。それについての表記は必要ないか。
委員	市民にとって核になる部分があることを、表現、実態として押さえておくべき。具体的に書けるかは時間の問題もあるが、重要な問題だと認識していただきたい。
市長	ガイドの養成と記載はあるが、観光部門と連携して、専門的な知識を身につけてお話ができる市民の養成を行っていききたい。
委員	ボランティアを育成するフォーマットを作り、専門的な知識を身につけ、そこに関わるスタッフが重要。ボランティアが有能であっても、それを構築する母体の人材が必要。専門的な知識、長期的に実践できるレベルのスタッフが必要。
委員長	事例があれば教えていただきたい。
委員	学芸員のイメージ。専門的な知識、ミュージアムの運営、ボランティアの実践など核となる専門のスタッフが行う。
事務局	本質的価値を維持するために人材が必要なのはその通り。そのうえで計画にどこまで反映して書くべきか検討させていただきたい。

委員	史跡に学芸員がいるところはあまりない。市で人材育成して、市の中に専門のセクションを設ける事例はある。蓄積した知見を伝えるには専門のセクションが必要。民間活用の際にどういった方が関わるかが非常に大きい。熱心な民間の方が関わってくれれば、学芸員をつける可能性もあると思う。民間でも学芸員は見据えていきたいというような話を加えてもよい。
委員長	どこまで書き込めるか検討して完成させていただきたい。 パブコメ 29 番で今後の財政収支どうしていくのか、というご意見があるが、酒田市が持続可能な状態で本質的価値を共有するマネジメント計画を作るプランを書くことはできるか。地元企業や団体と連携してどのようにできるか、書いた項目がほしい。
委員	P79 インタプリテーションを挙げているが、既存の山居倉庫の価値を消費してだけでなく、新しい研究調査で価値が生み出されていくこともある。そういう観点を入れてほしい。P141 には発掘調査について書かれており、その調査結果を発信し続けるという視点が抜けている。
委員長	光の当たり方によって調査を通じて見えなかった本質的価値が見えてくる。価値が変わっていくのか、変わらずに新たに明らかになる部分があるのか。事務局に整理していただきたい。
委員	何のための整備計画なのかもう一度認識してほしい。山居倉庫の歴史を学び、新たな産業をいかに作るか議論していきたい。市として雇用は大きな問題だと思うので新たな産業として事業につなげてほしい。
委員	資料展示学習施設の整備が令和 16、17 年となっているが、遅いのではないか。米穀の歴史、米穀流通の歴史を取り上げているが、米の歴史を伝えられるようにしてほしい。私有地だけの整備計画ではなく、三居稲荷神社に対して具体的にどうするのか記述をしてほしい。
事務局	資料展示も整備する予定。市としては財政を踏まえて 16 年度としている。再度事務局で検討する。インフォメーション施設の整備に伴い代替的なものができるか検討する。三居稲荷神社については記載する。
委員	P148 令和 8 年度に一部耐震補強工事とあるが、下屋の耐震工事のことか。
事務局	現在 12 号棟の下屋部分の耐震が悪いという話が出ているため、下屋のインフォメーション部分を一部耐震補強としている。
委員	令和 9 年度の耐震は下屋全体を行うということか。
事務局	下屋全体は 12 年度～13 年度としている。インフォメーション施設がある程度できた段階で行う。
委員	来訪者の受け入れはいつからできるのかイメージが必要。事務所棟にかかる屋根もあるが、色が塗られていない。倉庫以外の部分はどのように手が加えられるのか、段取りを確認したい。

委員長	今の意見が分かるように進捗を注記などで記載してほしい。
委員	P148 令和10年度まで調査計画としているが、調査をしている間は民間活用を進めないのか。その間も民間活用を考えてほしい。
事務局	ガイドラインを令和8、9年で作成後に進めていきたい。できるだけ早期に民間活用を進めていきたい。
委員	皆さんがどのように考えるかを考慮して検討していただきたい。
委員	社会実験を進めながらつくとよい。そのような取組をガイドライン作成中から始めていただきたい。
委員長	民間活用の課題について肉付けし、報告書の最後に記載していただきたい。

(2) その他

委員	未来の子供たちに向けてどう残していくかが課題となる。整備の一環としてどういう活用が考えられるのかを考えて進めていただきたい。
委員	観光施設となっている史跡の活用は非常に難しい。未来に向けての計画を行政として責任をもってやっていただきたい。これからどうやってチェックしながら市民に伝えながら前進していく姿をみせるか。山居倉庫を研究するともっと面白いと思うので、研究を続けていただきたい。
委員	建物をどのように耐震補強するか、活用のための整備をするのかの基本ができた。整備の間も施設に来て、いい施設だと伝えられる施設運営をしてほしい。人員体制について、学芸員の話があったが、山居倉庫が将来的にどういう施設になるように進めるのかを考えてほしい。目指すのはライスミュージアムになると感じた。日本や中国、東アジア等、米作を行った地域の一角として、米が貨幣の役割も担ったことを示すことのできる、米の文化的価値を伝える施設を考えてもよい。
委員	山居倉庫がここにある意義をどのようにとらえるかが大事。酒田にとって大事であるとともに米や日本の食文化の象徴でもある。水辺と共に伝えていく取組を様々な観点で議論を進めていただきたい。
委員	庄内・酒田の豊かさを作ることが大事。観光客は地元にはかないものを求めてくる。新たな産業を作れるように整備と一緒に議論できたらよい。
委員	山居倉庫は史跡指定されているが、遺跡や城跡が多い中で倉庫として珍しい形で指定されたものという認識がある。長い時間生き残ってきた建物を今まで通り活用し、生きている建物として使ってほしい。
委員	未来の子供たちに宝物として残していきたい。民間活用の進め方の課題もあるが、いかに市民から理解してもらい、共感を得られるかが大事。現在関わりのある企業だけでなく、新しい事業領域を広げる。地元の企業が自分たちの価値として捉えてほしい。計画策定後、どのタイミングで市民に伝えるか。概要版を出前講座のプログラムとして周知するなど

	の場がほしい。
委員	山居倉庫をどう捉えるか。今の時代に山居倉庫を捉え直すかという、価値観の問題。今の時代にそれがある意味、価値を創造することが大事。米文化を構築してきた国土。稲作を中心にして作り上げてきた風土。酒田市、山形県における山居倉庫の位置づけが大事。
委員	建物は大事だが、ストーリーが大事。それを伝えないといけない。山居倉庫だけでなく、市内の他の見どころと一緒に伝えることが大事。
委員	酒田舞娘の引き継いだ時に、継承しながらお金を生み出すものにすることが大変だった。外国人はストーリーがあるものが好きで、出張した際に酒田の歴史をお話ししたら酒田に行きたいと言ってくれた。ストーリーが途切れないように、歴史的なものを守りながら現代に合わせて収益化する。歴史を残しつつ新しいものを取り入れる、取捨選択が重要なポイントとなる。
オブザーバー	酒田市の取り組みを後押ししていきたい。
オブザーバー	整備計画は具体的な行動指針として進むべき方向を示すものと考えている。この議論から語り方を決めて語り続けることが大事。史跡が持つ長所をのばし、強みとなるような史跡整備を行っていただきたい。語るべきストーリーを踏まえ、活用の枠を上回る提案がでてくることを期待する。
委員長	日本人にとっての米、文化、理念につながる議論ができた。委員の先生にお集まりいただきフォーラムを行うとよい。事務局で自己評価を行うシステムを作るとよい。

6 その他

事務局	本日の議事に関する修正については委員長、副委員長の一任とさせていただきます。
-----	--

7 閉会

事務局	閉会のあいさつ
-----	---------